

ロマン溢れる歴史探訪 連泊なので身体にも優しい日程です。 千歳着5日間 株世界紀行

苔生す新緑の京都に“陰陽師”安倍晴明と 謎多き秦氏ゆかりの地を訪ねる

ご旅行期間とご旅行代金

2023年 6月12日(月)発～6月17日(土)着…¥298,000 お一人部屋利用追加料金 ¥58,000

ツアーのポイント① “陰陽師” 安倍晴明 の足跡を辿る

今から千年の昔、平安時代の京の都に安倍晴明という天才陰陽師(おんみょうじ)がいました。その出自には不思議な伝説があります。当時、阿倍野に安倍保名(あべのやすな)という男が住んでいました。あるとき、和泉(いずみ)の信田明神(しのだみょうじん)にお参りをすませて帰ろうとした保名の元へ、狩りで追われた白狐が逃げてきて、これをかくまってあげました。その後、白狐は女の人になって、保名のところへ来ます。名前は葛乃葉と名乗りました。ふたりは結婚して阿部神社の近くに住み、やがて子供が生まれ、安倍童子(あべのどうじ・晴明の幼名)と名付けました。古来から狐は、霊力を持った動物として崇められており、白狐であった母親を持つ晴明は、天才陰陽師として君臨することになるのです。

朝廷の陰陽寮に仕えた晴明は、優れた才能により、安倍家を賀茂家と並ぶ陰陽師の家に押し上げました。その伝説は時代と共に広がり、浄瑠璃や歌舞伎、能にも取り上げられてきました。晴明を始めとする陰陽師たちが携わった陰陽道とは、暦学や天文学の知識を生かして呪いや占い、祭りをする宗教です。中国の陰陽・五行思想を取り入れて、平安時代の日本で成立しました。陰陽道は朝廷や貴族に信奉されただけでなく、鎌倉時代以降は幕府や一般の人々にまで浸透し、明治維新を迎えて禁じられてからは、いろいろな習慣や行事として暮らしの中に伝わってきました。

陰陽師には、二面性があるとされます。一つは中国伝来の陰陽五行説(いんようごぎょうせつ)によって天体を観測したり、暦を作成する科学的側面。そしてもう一つは、式盤を使って吉凶を占ったり、自在に式神(しきがみ、陰陽師の意のままに動く鬼神)を自由に操る呪術師的な側面です。京都の安倍晴明神社に伝わる『安倍晴明宮御社伝書』には、安倍晴明が亡くなったことを惜しんだ上皇が、生誕の地に晴明を祭らせることを晴明の子孫に命じ、亡くなって二年後の寛弘四年(1007年)に完成したのが、安倍晴明神社であると記載されています[福島稲荷神社ホームページより]。

今回の旅では、いくつもの逸話が残る安倍晴明ゆかりの地を訪ね、よりディープな京都の旅をお楽しみいただけます。

ツアーのポイント② “新緑の京都”に苔の呼吸を感じて

アジアモンスーン域に含まれる日本は降水量に恵まれ、古代から苔が豊かな土地でした。そのため、万葉集にも登場するほど古くから日本人との結びつきがあったのですが、苔が日本人と広く繋がっていったのは鎌倉時代からだと言われています。華やかで貴族中心の平安時代の後に続く鎌倉時代には禅の影響もあり、質素や静けさなど日本人特有の美意識である「わびさび」と相まって、今では日本全国いたる所で美しい苔の風景を見ることが出来ます。

苔は日本庭園や神社仏閣などで、日本の風景を彩る非日常的な空間を創りだしています。特に京都では、35,000㎡もの広大な庭園に数百年間にわたって約120種類の苔に覆われた景観を維持している苔寺・西芳寺が最も有名です。

苔の緑が勢いを増す6月、歴史ある京都でわびさびが感じられる苔の風景に出会いませんか。



西芳寺

ツアーのポイント③ “古代歴史ロマン” 謎多き秦氏一族

3世紀から7世紀頃にかけて、漢字、仏教、建築技術など、当時最先端の知識や技術を日本に持ち込んだ『渡来人』。その中でも秦氏は最大勢力の一つであり、その後の日本の産業、文化を形作る大きな功績を残した一族とされます。秦氏は5世紀頃に日本に渡来したといわれています。秦の始皇帝の末裔とも称する秦氏は、応神天皇の時代に渡来した弓月君(ゆづきのきみ)の子孫と『日本書紀』を伝え、養蚕・製糸に従事する集団を形成しました。同時に、農耕に関しても大いに力を発揮し、著しく生産性を向上させたと考えられ、京都盆地のみならず、近江や播磨など各地に、その痕跡を留めています。もともと職能集団であった彼らは、治水による灌漑、製鉄、鉱山開発、酒の醸造、養蚕と絹織物の製造など、高度な技術を日本に持ち込んだ、いわば殖産興業の祖であり、時のヤマト朝廷からも厚い信頼を得ていたようです。また日本の神社に最も多い八幡神社や、穀物の神様を祀る稲荷神社の信仰を持ち込んだのも秦氏だとされています。

6世紀頃になると秦氏の族長的な人物、秦河勝が、当時、政治の中核にいた聖徳太子の側近として活躍します。のちに秦河勝は、芸を子孫に伝え、神楽は後に「申楽(さるがく)」「能」と呼ばれるようになります。受け継いだ子孫が、能を大成させた観阿弥・世阿弥親子だといわれています。世阿弥が記した能の家伝書『風姿花伝』には、能の元祖は秦河勝であり、自分はその末裔であるとの記述があります。また、日本の古典音楽である雅楽を奈良時代から世襲してきた東儀家も河勝の末裔だとされています。

秦氏の本拠地は、一般に京都市嵯峨の辺りから太秦(うづまさ)にかけての地域とされています。彼らが信仰の拠り所としていたのが嵐山や渡月橋に近い松尾大社であり、国宝の弥勒菩薩像で知られる太秦の広隆寺は秦氏の氏寺とされています。

実は秦河勝にゆかりの地は、播磨・赤穂の岬から北東に海沿いの町・坂越(さこし)にもあるようです。聖徳太子の死後、秦河勝は蘇我氏との政変に巻き込まれ、摂津難波の浦(現在の大阪)から舟に乗ってこの坂越にたどり着きます。地元の人々がその霊を大避大神として祀ったのが坂越の大避(おおさげ)神社です。また、大避神社の対岸に位置する生島には、秦河勝を祀る墓もあるとされています。

日本の歴史に多大な影響を与えた秦氏。彼らの足跡を巡り、是非古代ロマンに触れてみてください。

ご旅行条件

- 募集人数/10名様定員
- 最少催行人数/6名様
- お食事/朝食4回・昼食4回・夕食4回
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス
- 【ご自宅～ホテル、空港～ご自宅】
- ※日本各地から出発して、伊丹空港合流のプランも承ります。料金はお問合せ下さい。
- ※右記の「○」はお食事の有無を示します。「×」の食事は含まれておりません。
- ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになられるよう万全の手配努力を致します。



晴明神社

ご利用予定ホテル

～京都中心部にゆったり4連泊です～
お買い物や散策に便利な京都中心エリア
京都御所や錦市場などアクセス抜群です
ホテル・ザ・セレスティン京都祇園、三井ガーデンホテル京都新町別邸、ソラリア西鉄ホテル京都プレミア三条鴨川[すべて洋室]
※上記または同等クラスとなります。
※お一人部屋利用の場合はダブルベッド又はクイーンベッド1台のお部屋のなる場合がございます。



地藏院



蛇塚古墳



蚕ノ社

秦氏ゆかりの養蚕神社に建つ3本柱の鳥居。養蚕や機織りの技術を伝えた秦氏にちなんだ名前が付けられています。

都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1 千歳 伊丹 大阪 奈良 (桜井市) 京都	<p>スーツケース無料託送サービス ご自宅～ホテル</p> <p>■午前、全日空にて、伊丹空港へ[08:25発/10:20着]。 ■着後、1日半にわたり、不思議な力を持っていたとされる安倍晴明のゆかりの地を巡ります。 ◇生誕地・安倍晴明神社 ◇修行をしたといわれる安部文殊院 ◇天文観測をした観測地や、追葬されたといわれる艸墓(くさはか)古墳 京都市内にゆったり4連泊です</p> <p style="text-align: right;">☒☒☒[京都市内泊]</p>
2 京都	<p>■引き続き、安倍晴明ゆかりの地と「安倍晴明の逸話」を辿ります。 ◇逸話① 自身の式神を隠していたといわれる一条戻橋 ◇逸話② 蘇り伝説 晴明氏の念持仏である不動明王像が安置される真如堂 ◇逸話③ 京都の天文 星を神様として祀った大將軍八神社 ◇逸話④ 雨乞い 晴明氏の息子・吉平氏が初めて雨乞いの儀式を行ったとされる神泉苑 ◇晴明氏の屋敷跡に社殿が設けられた晴明神社 ◇晴明氏の師であった賀茂忠行が神主家の先祖だったという上加茂神社 ◇安倍晴明墓所</p> <p style="text-align: right;">☒☒☒[京都市内泊]</p>
3 京都	<p>■終日、苔と青もみじの京都を巡ります。 ◇通称苔寺とも呼ばれ、その園内には約120種類の苔が絨毯のごとくに敷き詰められている西芳寺 ◇竹の寺・地藏院 竹林だけでなく青もみじや苔の緑も綺麗です。 ◇『平家物語』に登場する祇王ゆかりのお寺・祇王寺 茅葺き屋根の草庵の前に苔庭が広がり、20種類以上の苔が生育している景色は圧巻です。 ◇滝の間の床一面が新緑の緑色に染まる実相院門跡 ◇比叡山の麓に位置する三千院 三千院の歴史の源である国宝・往生極楽院を囲むように庭一面に苔が敷き詰められた、心癒される緑の風景をお楽しみください。 ■昼食は、天正年間(安土桃山時代)から続く平八茶屋にて、かつて街道を通った旅人が食べていた麦とろろ膳をご賞味ください。</p> <p style="text-align: right;">☒☒☒[京都市内泊]</p>
4 京都	<p>■終日、秦氏ゆかりの地を巡ります。 ◇秦氏の有力者の古墳だと言われる蛇塚古墳 ◇京都最古の寺院で、秦河勝が聖徳太子から弥勒菩薩像を賜ったことをきっかけに建立された広隆寺 ◇秦一族を祭神とする大酒神社 ◇日本で唯一ここでしか見られない三本柱の鳥居が残される蚕ノ社 ◇蛇塚古墳に次いで二番目の規模を誇り、秦氏の墓とされる前方後円墳・天塚古墳 ■昼食は嵐山にて、豆腐料理をお召し上がりください。</p> <p style="text-align: right;">☒☒☒[京都市内泊]</p>
5 京都 伊丹 千歳	<p>■午前、住宅地にポツンと残される伝・秦河勝の墓へご案内します。 ■その後、伊丹空港へ。 ■午後、全日空にて、千歳へ[13:50発/15:40着]。 ■夕刻、千歳空港到着後、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅</p> <p style="text-align: right;">☒☒☒</p>



ご利用バス会社

観光ドライバーガイドが同行します
安倍晴明と秦氏ゆかりの地を巡る行程の日は、その道に詳しい**特別ガイド**を手配いたします。
エムケイ観光バス、エムケイタクシー、関西中央交通、聖京都観光、雅京都観光、京都相互、近鉄観光、ゆうゆう京都観光、日本交通、和京都観光 JPS 京都観光
※観光客増加に伴い、京都の主要観光地のバスの駐車制限がされているため、全行程ジャンボタクシーのご案内となります。場合により分乗となりますので、ご了承ください。

祇王寺